

永勝寺 阿弥陀如来立像

当寺の『御相殿略縁起』には、親鸞聖人が善光寺如来よりお告げを受けたことにより、善光寺如来を模して彫ったものと記述にある。この像が安置してあるお堂の前を馬上のまま通ると落馬してしまうので、顔にお面をかけて難を止めていたことから「面掛如来」の異称をもつ。鎌倉初期のものとして県重要文化財に指定されている。



永勝寺 阿弥陀如来立像